

木谷の風



コミュニティ・スクール推進員 福田 みき

6年生の総合的な学習の時間から

【6年生 松本煉瓦株式会社探検 12月8日（金）】

6年生は、【木谷で作られていた煉瓦について、一人一人が課題を持って追究し、みんなに伝えることができる。】という総合的な学習の時間の目標があります。今は姿を消してしまった木谷の煉瓦工場ですが、歴史を調べたり、実際に作られている煉瓦工場を見学したりして煉瓦に思いをはせるように学習を進めていきます。

12月8日の金曜日には吉名町の「松本煉瓦株式会社」に行きました。また、12月18日の月曜日には三津の「昭和KDE株式会社」に見学に行きます。児童たちは、初めて見る煉瓦形成の過程に大変興味を持って観察したり、話を聞いたり、質問したりすることでしょう。様子を簡単にお知らせします。

【松本煉瓦株式会社】



煉瓦ができる工程順に説明してくださいました。愛知県や奈良県や山口県や岡山県産の土や西条や地元の吉名産の土もありました。赤色だけでなく、黄色やオレンジ、まだら色や白色など色にこだわる等、生き残るための工夫を真剣に語ってくださいました。

その土を選別し、練り、成型していきます。柔らかい粘土を乾燥させるのに4日間。焼き

上げる温度は730度から1200度で30時間。窯に近寄ると熱風を感じました。多くの見本が展示されている所で、自分のお気に入りを決めて写真を撮りました。たくさんの発見のある探検でした。



